

友好のきずなを強めて

——韓日親善連絡委員会ソウルで開催——

日韓親善連絡委員連絡担当 黒澤 張三（東京南）

1991年2月19日、20日ソウル新羅ホテルで開催された。厳寒の最中であつたが、温かい友情に包まれた会合を持つことができた。

第1日・李方子英親王妃追悼募金伝達式が厳粛に行われ、その後、歓迎晩さん会が催された。

第2日・本会議は両国委員長のあいさつ、各委員の自己紹介の後、A（青少年、WCS）B（姉妹提携、友好交換）の2グループに分かれ、それぞれのテーマを基に討議がなされた。

午さんの後、本会議を再会、グループ討議の結果が報告され、それを採択した。

夫人プログラムは、呉委員長夫人朴賓熙様の指導で「青少年奉仕」をテーマにする懇談勉強会の場が設けられ、有意義の一時を過ごした。

終わりに送別晩さん会が催され、呉在環委員長の友情あふれる司会で、尽きぬ名残を惜しみつつ会を閉じた。

参加者は夫人を含め、韓国側は呉委員長ほか28人、日本側は菅野委員長ほか14人の出席であつた。



韓日親善連絡委員会にて。

—主な協議事項—

青少年交換、WCS

通常の交流の外、スポーツや趣味を通しての交流を考えたい。ホームステイをできるだけ推奨する。日韓両国の青少年交換委員長会議を開催したい。RIのWCSプロジェクトによるよりも、直接にクラブ対クラブでの友好な奉仕が期待できる。

姉妹提携、友好交換

地区レベルの姉妹提携・韓国に11地区あるが6地区が提携済み、残る5地区の提携の促進を期待する。ロータリアン家族の相互の訪問が両国の親善と理解の促進に望ましい。日本の米山奨学生を韓国11地区ガバナーより1人の選出指名できるように希望する。

次回開催の時期、場所

92年2月、仙台またはその付近で、300人程度の出席者の規模として開催することで合意をした。

(第275地区 1984—85年度G)



大苑閣での前夜歓迎晩さん会。